



地域に役立つために 新しいサービスの提供を

弊社は、「クライアントに共感し、スピードを追求し、最新のサービスを提供し続ける」を経営理念としています。

私は、税理士事務所はキャッチアップがとても遅い業界だと思っています。特に地方はより顕著に感じます。地方では、いわゆる昔ながらの「町の税理士さん」と言われるような、基本の税理士業務のみを対応される事務所が多いと思います。しかし、世の中のそういった税理士事務所へのニーズはほとんどなくなっていくと思っ

地域の現状を憂い お客様のニーズに応えながら 「頼りたい」と思われる企業へ

東京では当たり前のサービスが、地方ではまだ行き届いていないことを知り、愕然とした経験があるという代表・佐々木氏。

お客様から「以上衰退させないための、先進的サービスを提供する」という志とは。その熱い想いからは、開拓へ向けた志の高さが伝わってきました。

だろうと感じています。

もちろん、基本の税理士業務は非常に大事な業務のため、なくなることはないと思います。ただ、それだけではなく、より仕事を効率化して、仕事を進めていくことが大切です。私はこれが、開業時からの自分のミッションだと考えています。

2011年に東日本大震災が起きた後、政府系のファンドの立ち上げや、行政関連のお手伝いをさせていただきました。それらの仕事の関係で、東北の地銀に向向するなど、仙台など東北方面に頻繁に行くようになりました。

私はもともと、東京で上場企業や投資銀行などのファンドの仕事していたこともあり、東京との落差をととても感じました。そし

て、ちょうどその頃、東北の仕事に携わっている時に、まわりの方々から「東京ばかりじゃなく、地方にも色々な先進的なサービスを提供してくれる事務所を作って欲しい」という声をいただきました。そこで「地域のお役に立てるような事務所を作ろう」と一念発起し、2013年に弊社を創業しました。創業以来、被災地の債権放棄の計画や交渉なども数多く経験してきました。事務所として、今後もお客様の気持ちやニーズに共感しつつ、日常業務の効率化を図りながら、常に新しいサービスを提供して地方を活性化できるようにしたいと考えています。

弊社の業務内容は、基本の税理士業務はもちろんのこと、特殊な案件も多数、受けさせていただ

ています。売り上げの半分以上は、顧問料と決算料以外です。受ける業務としては、事業再生やデューデリジェンス、M&Aの仲介に税務調査など、スポット案件が多いのが特徴です。お客様には多種多様な提案をさせていただいてますので、弊社の職員はさまざまな業務経験を積んでいます。

これからお客様が求めているサービスを提供し続け、地域の活性化を推進していきたいと考えています。

スタッフと協力しながら お客様を発展へと導く

現在、社員が10名ほど、アルバイトも含めると16名の職員が働いています。平均年齢は40代中頃ぐらいです。独立して2〜3年

ことで、徐々に社員にノウハウを定着させています。規模拡大をしていくながら、良いサービスを提供するにはスキルアップが必要と感じますし、社員が働きたいと思える環境づくりも大切だと思っています。

給料と賞与は、担当している顧問先の売り上げに応じて決まっています。スキルとキャリアが上がった際には、管理職手当もあります。担当が増えればそのぶん反映されますので、やりがいをもって働ける職場といえます。

また、福利厚生としては、週に1回のテレワーク、インフルエンザの予防接種の補助、健康診断の実費1万円まで会社が負担する制度などがあります。

人との向き合い方で、 円滑な業務が可能に

組織を運営する上でこだわりを持っている点といえば、社内のコミュニケーションです。弊社には、入社時の歓迎会の他、忘年会と暑気払いがあります。もちろん、費用は事務所負担です。過去の暑気払いは近くのウナギ屋、忘年会はカニを食べるなど豪華な開催内容なので、スタッフは積極的に参加してくれています。

私は出張や打ち合わせが多く、あまり事務所にいません。しかし、



それまでより下がったのが理由だと思いません。お金ばかりを求めるのではなく、社会に貢献できるような事業をしたい。そのためには、もつと仲間を増やす必要があると考えました。

また、30代の自分と今の自分を比較して変わったなと感じるものが、昔は自分が頑張っていた分、人に対して少し厳しかったことです。しかし、40歳手前になり、以前と比べ周りに対して寛容になってきたと思います。さまざまな経験を通じて、お金やまわりの人に対し

佐々木健郎（ささき たけお）
2事業再生などを専門とする企業に就職したのち、新日本有限責任監査法人に転職。入社後の2010年に公認会計士として登録し、さらに多くの経験を積んでいく。2013年に独立し、株式会社マネージポート会計事務所・代表取締役就任。2014年にマネージポート税理士法人・代表社員就任。



←ホームページへの
アクセスはこちら

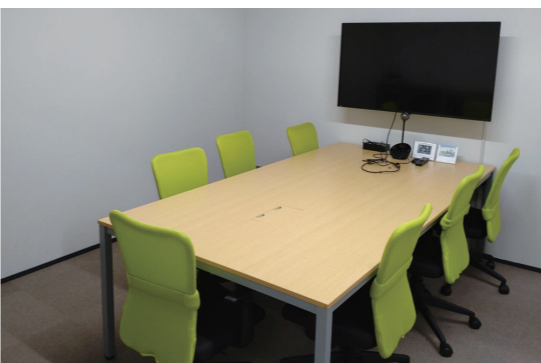
てガツガツしていた気持ちが丸くなりまし。現在は人を増やしつ、特殊な案件の事例共有やお客様対応の仕方などを説明してい

INTERVIEW

マネージポート税理士法人
代表社員

佐々木健郎氏

目の頃は、次々とスタッフを増やしていき、20人弱ぐらいまでになりました。しかし、まだ30代前半だった私は社員の管理が上手くできず、それ以上の規模拡大は一度諦めることになりました。ですが、また、40歳になるタイミングで、今度は良い組織を作るために規模拡大を考え始めました。それは自分のお金に対する価値観が、



増えるため、M&Aをしてでも会社を維持しないと、雇用も失われ、町のGDPも下がります。私たちは、この負のスパイラルに歯止めをかけた。地域の力を維持しつつ、新しい世代へと受け継ぐお手伝いをしたいと考えています。そのため規模拡大を考えています。弊社が迎えた人材として希望するのは、素直で言い訳をしない人です。まずは言われたことを素直に実践できる人は成長します。また、心身ともに健康なことも重要だと考えています。人の成長は、健康あってこそ、と考えています。身も心も健康な上で、社内の人間に自分から積極的に質問する、お客様さんともうまくコミュニケーションが取れる人と、発展のある未来を共に目指していきたいと思っています。

事務所概要

マネージポート税理士法人

本社所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町15番15号 食糧会館ビル5階
拠点数	2
創業	2013年
従業員数	16名
平均年齢	40歳中頃